

第1学年 算数科 「ひきざん」 (全14時間)

「ひきざん」(東京書籍・1年下)

指導のねらい

- ・11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を考え理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いることができるようにする。

単元の実際

計算の意味理解・確実な計算・生活や学習の中での活用

第1次 被減数を分解して計算する方法を知り、計算の仕方を考える。

①② 減数が9の場合の計算の仕方を考える。

◇11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算で、被減数を分解して計算する方法(減加法)と減数を分解して計算する方法(減々法)があることを理解する。

- ・算数ブロックを並べ、一つ一つ取る方法以外の計算の仕方を考えさせる。

③～⑤ 減数が8の場合の計算の仕方を考える。

◇11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算で、減数が大きい場合は減加法が計算しやすいことを理解する。

- ・算数ブロックを並べ、まとめてひくためにはどこからひいたらよいか考えさせる。

第2次 減数を分解して計算する方法を知り、計算の仕方を考える。

⑥⑦ 11～18から1位数をひく繰り下がりのある計算の練習と文章題を解決する。

◇11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算で、減々法を理解するとともに、減数が大きい場合は減加法が計算しやすいことを理解する。

- ・どこから減数をひくのか考えさせ、減々法を理解させる。また、問題によって減加法と減々法を選択して解決させる。

第3次 減法の計算能力を伸ばす。

⑧～⑫ 計算カードを用いた計算の習熟を行い、理解を確実にする。

◇計算カードを用いて減法計算の練習をする。

- ・計算カードを使い、順序よく並べたりゲーム形式を取り入れたりして、減法計算が確実にできるように計算させる。

第4次 単元の学習内容の理解を深める。

⑬ 「しあげ」「おいこしげえむ」に取り組み、単元の学習を振り返る。

◇既習事項を適切に用いて問題に取り組み、理解を確実にする。

⑭ 図や算数ブロックを使って場面をイメージし、演算決定する能力を伸ばす。

2ページ参照

◇図や算数ブロックを使ってどんな場面かをイメージし、演算決定する。

- ・問題文章から必要な情報を読み取り、どのような式になるかを考えて順序立てて説明させる。

◇ 主体的・対話的で深い学びの過程を実現する工夫

⑭ 図や算数ブロックを使って場面をイメージし、演算決定する能力を伸ばす。

授業の実際

☆つかむ・見通す

◇これまでに学習してきたことを活用して3題から12-5になる問題を選ぶ。

- ・演算決定をする能力を伸ばすため、3題を提示する。
- ・文章中の言葉から、①はたし算であることに気付かせる。
「はるかさんがつかった数とおねえさんがつかった数を合わせないといけないので、たし算になります。だから12+5になります。」
- ・「のこり」「どちらがなんまい」という言葉や、問題場面を理解できるようにジェスチャーを交えながら、②と③のどちらが12-5になるか予想させる。

- ①おりがみをはるかさんは12まい、おねえさんは5まいつかいました。あわせてなんまいつかったでしょうか。
②ガムが12こあります。5人で9こたべました。のこりはなんこでしょうか。
③けいすけさんはカードを12まい、おとうとは5まいもっています。どちらがなんまいおおいですか。

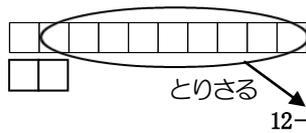
課題 12-5になるもんだいをみつけ、りゆうをせつめいしましょう。

☆自力解決

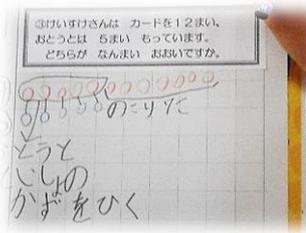
◇問題から必要な情報を読み取り、算数ブロックの操作や図などで自分の考えをもつ。

- ・自力解決の時間を確保するために、あらかじめ問題をノートに貼っておく。
- ・机間指導を通して、子供の反応を把握し、支援する。

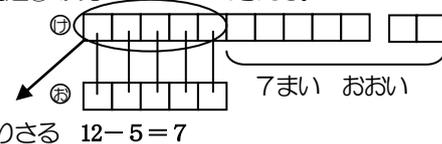
問題② 反応：図をかいて考える。



支援：食べた数はいくつか確認させる。
「食べたのは何個かな」



問題③ 反応：図をかいて考える。



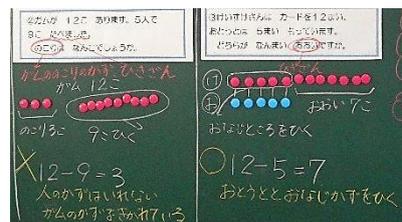
支援：説明できるよう準備させる。
「図を使って説明できるようにしよう」

とりさる 12-5=7

☆学び合う

◇正解かどの文章題であるかを、算数ブロック（磁石）、図、言葉を使って説明する。

- ・文章題の言葉や必要な情報から、演算決定した理由を算数ブロックや図と結び付けながら説明させる。
「ここが多い部分なので、多い部分を求めるために同じ数の部分をとりさります。だからひき算で12-5になります。」
「のこりのガムの数を聞かれているので、12こから食べた9こをとりさります。だから12-9になります。5は人数なので、関係ないです。」
- ・12-5になる問題を探すときに気を付けたことを板書の言葉をヒントに発表させる。



まとめ だいじなことばにきをつけてよみ、すやブロックをつかうとたしざんかひきざんかわかる。

☆確かめる

◇適用問題を解く。 ひよこが11わいいます。にわとりは3わいいます。どちらがどれだけおおいですか。

☆振り返る

◇授業を振り返ってはなまる日記を書く。